

## 放射線科のお仕事

川口市立医療センター

放射線科 **おぎわら しょう 翔**



放射線科医は患者さんに直接お会いすることはあまりありませんが、主治医からの依頼を受けレントゲンなどの撮影を行い、得られた画像から病状や所見を主治医に伝える業務を行っています。診断のために当科で行う検査はレントゲンやCT、MRI、核医学検査などがありますが、主に用いられるのがCT\*とMRI\*です。そこで、それぞれの長所と短所をご紹介します。CTの長所は5～15分程度の短い撮像時間で広範囲の検査を行うことができ、細かな部分まで観察できる事が挙げられます。得意な領域は脳出血、肺、心臓や大動脈、尿路結石、腸炎や腸閉塞などです。疾患や病状によっては造影剤を使用することで、さらに病変部をはっきり映し出すことができ、より正確な診断が可能になります。一方で放射線を用いるためごくわずかではありますが、放射線被ばくをする点が短所として挙げられます。ただし、撮影範囲・回数を最小限にとどめて被ばくを少なくしているため、健康への影響はほとんどありません。

次に、MRIの長所は磁力を使う検査なので放射線被ばくの心配が無い点です。MRIはCTに比べ病変部と正常組織との濃淡（コントラスト）を明瞭に写すことができ、病変を検出しやすい検査です。得意な領域は脳、肝臓や腎臓の腹部、骨盤領域など骨に囲まれた場所や関節、血管や神経などが挙げられます。一方でCTに比べ一度に検査できる範囲が狭いことに加え、検査部位、内容にもよりますが20～60分程度の時間がかかります。また、MRIは狭い空間で撮影を行うことから、閉所が苦手な方には不向きであったり、撮影に強力な磁石を用いるため、体内に金属が入っているかたは検査が行えないなどの短所があります。

このように各検査にはそれぞれ長所と短所がありますが、疑われる疾患に応じて必要な検査を適切に選択し、病状を正確に診断することで、市民の皆さんの健康をサポートしています。

\*いずれも体内を断面像として描写する検査で、CTはX線、MRIは磁力を利用。

## アルコールとうまく付き合しましょう

年末年始は、忘年会や新年会などでお酒を飲む機会が多くなる時期です。節度ある適切な飲酒量を心掛けましょう。

### ○適切な飲酒量とはどのくらい？

体内でアルコールを分解するときには主にはたらく臓器は肝臓です。肝臓が処理できるアルコール量には限度があるため、適量を超えた飲酒をすると、肝臓はアルコールを分解しきれません。

### 1日の飲酒の目安は、純アルコール量で20～25g程度です。

女性はアルコールの分解が遅いといわれているので、男性の2分の1～3分の2程度が適量と言えます。また、若年者や高齢のかたも同様です。

### ○酒類別の適量(純アルコール量20g)の目安 (アルコール度数%)



純アルコール量で1日平均、男性では40g以上、女性では20g以上の飲酒を続けていると、肥満、高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病のリスクが高まります。

また、アルコールは依存性があり、長い間、大量のアルコールを摂取し続けることで、**アルコール依存症**などの心の病気を引き起こす場合があります。①お酒をたくさん飲まないで酔わなくなる②お酒がないと不安・イライラする③体に悪いと分かっても飲まずにはいられない④お酒をやめたいと思ってでも自分ではコントロールできないなど、お酒でお悩みのかた、またそのご家族や周りのかたは、まずは専門機関へ相談してください。

☎疾病対策課 ☎048-423-6748 FAX048-423-8852

## イベントスケジュール

7日(日)～14日(日) **1月**

アートな年賀状展2024  
会場 アートギャラリー・アトリア

8日(祝) **川口市はたちの集い**  
会場 リリア、川口西公園

17日(土) **2月**  
カラフル COLORFULふえすた  
会場 フレンジア

6日(火)～3/3日(日)  
旧田中家住宅の桃の節供 雛人形の展示公開  
会場 旧田中家住宅



ものづくりに魅せられて  
高砂化工機株式会社  
技術伝承顧問  
柳 利正さん

川口市の産業の第一線を担う、優れた技術・技能者を顕彰する川口市産業技術・技能者顕彰制度。「ものづくりのまち川口」を象徴する本顕彰で10年ぶりの大賞を受賞したのは、市内で鉄工として働く柳さん。鉄をガスバーナーで加熱し、木製ハンマーで叩いて指定の形状にする「火造り」によるナックル曲げ加工と呼ばれる技術を有する全国でも数少ない職人の一人だ。今回、長年の経験と日々の研鑽により磨かれた卓越した溶接技術などが高く評価され受賞に至った。「会社や支えてくれた人たちのおかげです」。その謙虚な言葉からは柳さんの実直な人柄が伝わってくる。「学費が無料で、国家資格が取れる。こんな良いところがあるのか!」中学3年生の時、偶然目にした職業訓練所の案内がものづくりとの出会

いだった。訓練所では溶接技術などの基礎を繰り返し体叩き込み、卒業後は都内の鉄工所に就職。作業場の掃除や雑用をこなしながら、厳しい親方のもと技術の習得に努めた。そんな下積み時代を経て、現在の会社で活躍するに至るまで半世紀以上、鉄工を続けてこられたのは、ものづくりの魅力に惹かれたから。「鉄は生きものと同じ。気温や環境で微妙に変化する。ため、日々調整が必要になる。単純な作業に見えても、毎回違う発見や課題があり、新しいことに挑戦できる楽しさがあるんです」と語る。

73歳になった今も現役の鉄工として、若者に混ざり第一線で汗を流す。それだけに留まらず、溶接技術を競う県の大会で優勝すべく、就業時間前や休日を利用して日夜鍛錬に励むなど、その飽くなき向上心はまだ衰えを知らない。「ものづくりにはゴールがなく、無限の奥深さがある。これまで培った技術とともにその魅力や楽しさも次の世代に伝えていければ」。技術の継承は伝える側の責務という思いのもと、現在では後進の育成にも心血を注ぐ。熟練の技術を何度でも確認できるように会社に独自の研修動画制作に精力的に取り組むほか、国から「ものづくりマイスター」の認定を受け、その研修を通じて人材育成のノウハウを習得するなど、効果的な技術の継承に努めている。



川口市 広報課 職員による  
ちょっとくだけた!? 市政情報番組  
85.6 MHz City Information  
FM Kawaguchiで放送中  
放送日: 平日の10分間...10:00、13:50、17:50、20:00

LINE ID @kawaguchi.city  
川口市 公式アカウント  
※おまかせ川口情報メールと同じ内容の受信も可能

きらり川口情報メール  
1/26(金)～31(水)はシステム更新のため、メールの新規登録・変更・解除機能を停止します。